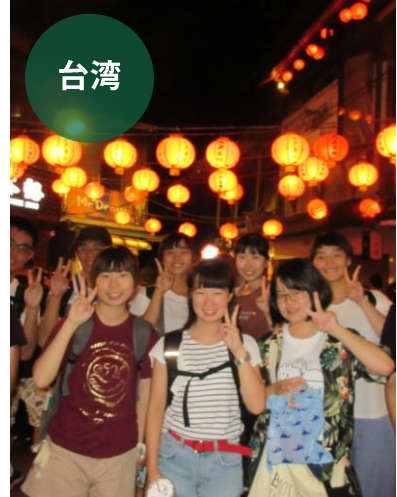


台湾



ベトナム



シンガ
ポール



アメリカ



海外でグローバル体験

MIYAZAKI OMIYA GLOBAL PROGRAM REPORT 2023

宮崎大宮高等学校グローバル・プログラム(国際協働プログラム)

交流



宮崎でグローバル体験

ホーム
ステイ



イノベ
ション



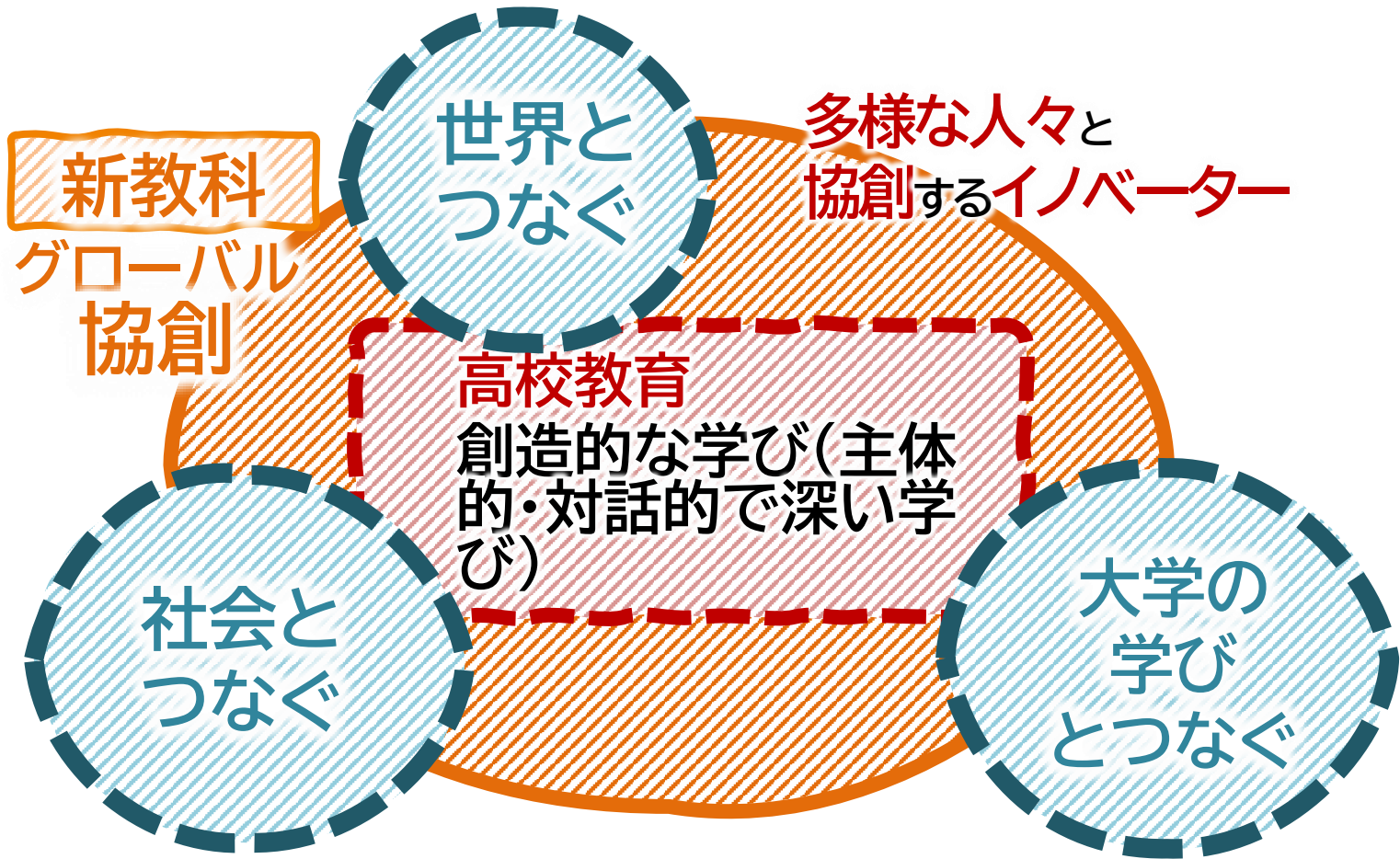
2020年度文部科学省指定 WWL拠点校

Miyazaki Omiya Senior High School

since1888



WWLで目指してきた学習環境



グローバル協創(Global Co-Creation)

1. 「多様な人々との協働に学ぶ」

“Learn by Collaboration with diverse people”

① “What am I?”

(私は何者か?)

② “How do I relate to others?”

(他者とどう関わっていくのか?)

③ “What will I contribute to the world?”

(自分は、世の中に何を貢献したいか?)

2. 「創造することで学ぶ」

“Learn by Creation”

①論理的思考 ②批判的思考 ③複眼的思考 ④水平思考

⑤共感 ⑥コミュニケーション

グローバル協創 I

協創基礎×協創情報 – プロジェクト学習でマインド・スキルを学ぶ

1年次:4月
未来図書館プロジェクト



チームでプロジェクトに取り組み、プロセスとマインドを学ぶ。

1年次:5~6月
SDGs×食プロジェクト



協創に必要な拡散と収束のスキルを、フレームワークを使って学ぶ。

1年次:7月
キャリア探究プロジェクト



協創の方法を活用して、自将来と、学びについて考え

1年次

希望制のプログラム

プロジェクト/イノベーション

1年次:8月(希望者)
TISP(イノベーション・サマープログラム)
(本校×JSIC主催)



プロジェクト学習で学んだスキルを活かして、国内外のイノベティブな学生達と、アイデアを共に創る。(日・英)

2年次

グローバルプロジェクト

1年次:9月
SDGsフィールドワーク



新しいチームで、現地を訪れ、人々の理解・共感・洞察を

グローバル・コミュニケーション

1年次:12月
Global Camp



ALTとのチームで寝食を共にし、英語漬けの2日間。で会話する。英語スピーチコンテスト、英語ディベート、プロジェクトを共に創る。

1年次:12月
Global Camp



世界とつなぐ

社会とつなぐ

1年次:1~2月
プロジェクトを始動



国内のフィールドワークでの地域の人々や、グローバルキャンプでの外国人ALTとの対話をもとに、国内外で協働して取り組むプロジェクトを立ち上げる。この実現に向けて、課題研究を始める。

1年次:2月
国内外の人々と対話



1年次:3月
プロジェクトから研究へ



高校教育
創造的な学びの復活

グローバル協創Ⅱ

2年次:4~7月
課題設定,研究計画立案



宮崎大学・宮崎産業経営大学との高大連携のもと、課題研究に取り組む。一部のチームは、国内外連携校と連携した課題研究に取り組むことも可能。

2年次:8~10月
調査・実験と結果・考察



2年次:11~3月
研究成果を社会に共有

グローバル協創Ⅲ

3年次:4~7月
グローバル高校生フォーラム
に向けて



課題研究の成果を、国内外連携校が参加する国際会議を発表・議論。

3年次:4~7月
研究論文の作成



研究成果を研究論文(日本語)にまとめ、社会に貢献する。

3年次:9~12月
グローバル・キャリアパス



これまでの学びを振り返り、これからの学びを設計する。

国際協働プログラム

台湾・ベトナム・シンガポール研修



連携校の高校・大学生とフィールドワーク・ディスカッション、プレゼンテーション



国内研修



連携校の高校生が来日。実験教室、フィールドワーク、プレゼンテーション、ディスカッションを共に行う。

2年次

世界とつなぐ

3年次

海外連携校も参加

宮崎大宮高校の グローバル・プログラムのポイント



Miyazaki Omiya
Senior High School
since 1888

本校は、2015年から文部科学省のSGH指定・2020年には、文部科学省のWWLコンソーシアム構築支援事業・カリキュラム開発拠点校の指定を受けました。
この期間に、本校では台湾・ベトナム・シンガポール・米国の海外研修やイノベーションプログラムを連携機関と連携し、本校独自で教育プログラムを研究開発しました。

POINT 2

英語によるプレゼンテーション・ディスカッション能力を身につける

POINT 3

少人数グループで、
現地の高校生・大学生と
深く関わることができる

POINT 4

探究テーマにもとづき
自ら計画・実行し主体性を鍛える
-学校が用意するのは宿泊先と航空券のみ-

POINT 1

海外の姉妹校・連携校との信頼
関係による協働・双方向の交流
(特に台湾・ベトナム)

POINT 5

高校時代の経験によって形成
されるマインドは自分自身の将来
を変える可能性がある

宮崎大宮高校の グローバル・プログラムの概要



Miyazaki Omiya
Senior High School
since 1888

海外でグローバル体験（アウトバウンド）

プログラム	台湾研修	ベトナム研修	シンガポール	米国研修 (米国短期留学)
目的	グローバル・リーダーを育成 (文部科学省 スーパーグローバルハイスクール(SGH)指定にて開発開始(2016年~))			グローバル・ イノベーター育成 文科省WWL指定にて開発開始(2020年~)
コンセプト	台湾・ベトナムのトップレベルの姉妹校との篤い連携のもとでプログラムを作成。授業体験・ホームステイ体験等を通して現地の学校や家庭に没入する。		探究テーマを切り口に、自分で社会調査を計画して実行する 武者修行 。	進路探究テーマを切り口に、自分の将来に関連性のある研究者を調べ訪問地を 自ら計画 して実行し、志を高める 武者修行 。
主な連携先	姉妹校 高雄高級中學	姉妹校 グエン・タット・タイン 中学校	シンガポール国立大学日本語研究会の大学生/シンガポール国立大学附属数理高校	コロンビア大学・ハーバード大学・マサチューセッツ工科大学の大学生
主な活動内容	本校の姉妹校との国際交流体験、学校生活体験、姉妹校の生徒と探究活動の社会調査 ファイナル・プレゼンテーション		現地理解、大学生の支援をもらい、探究活動の社会調査 ファイナル・プレゼンテーション	進路志望分野の教授・学生等との対談、関連施設の訪問 (自ら計画しアポイントをとる) ファイナル・プレゼンテーション
宿泊	ホテル&ホームステイ	ホテル&ホームステイ	ホテル	ホテル

国内でグローバル体験(インバウンド)

プログラム	イノベーション・プログラム		
パート	交流パート	ホームステイ	イノベーションパート(TISP)



シンガポール国立大学の学生と
フィールドワーク

探究テーマにもとづいて

フィールド調査(インタビュー・アンケート)

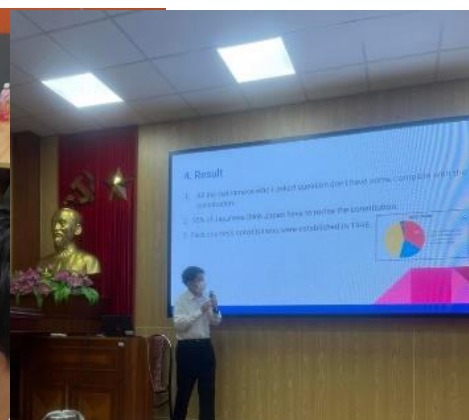


多文化理解

イスラーム文化, ヒンドゥー文化
中華文化, 欧米文化の理解



連携校でのプレゼン・ディスカッション



探究テーマについて

プレゼンテーション・ディスカッション



ファイナル・プレゼンテーション

【米国研修】進路探究テーマについて

武者修行での学びを「ファイナルプレゼンテーション」

U.S. Study Tour

(New York, Boston)

1. Research Questions

I want to study about "VR technology" in the future.

How can VR contribute to the world more efficiently?
How will VR be developed in the future?

(Not only to enjoy video games)→



2. Reasons

I want to live in "a new world" what we can only imagine now.

There, people use VR in their everyday life.

I met Mototani Shingo, who told me that he is making an application which enables us to visit and walk VR world and upload and watch our photos and movies there.

It will be **not impossible to use VR in our everyday lives.**

The pictures of Venture Cafe



Is it possible to make freely our own VR world?

May be still difficult, but **everyone will soon be able to do it.**

3. Significance of the study

"VR technology" is not only for entertainment, but also useful for **medical treatments.**

Ex. it can be used for therapy of PTSD

And for shopping, studying, traveling, and so on.



4. Purpose of the study

- How is VR technology developed now?
- what is the problem which must be solved?

Learn how VR will change and what role it can play!

Final Result.

We will be able to **use VR daily**

in the near future.

We may be able to **live in VR** in the future.

VR will surely be able to be used to help people in more fields which is even **a fundamental of our life** such as in saving refugees, in architecture, and in basic lives.



台湾研修プログラムは、前半の台北市内プログラムと後半の高雄市内プログラムに分かれます。

前半の台北プログラムでは台湾や台湾と日本・宮崎との関係を学び、後半の高雄市内プログラムでは、姉妹校協定を2015年11月に結んだ名門校・高雄高級中學とのフィールドワーク・ディスカッション・プレゼンテーションを通して、課題研究テーマを切り口に宮崎と台湾を結びつけて深く考え、高級中學生との友情を築いていきます。

南台湾トップの 姉妹校の生徒との コラボレーション 台湾研修



姉妹校
Kaohsiung
Senior High School
高雄市立高雄高級中學(台湾)



2015年11月
姉妹校協定締結

■研修日程(2019年8月実施分)

1	7/27(土)	移動(宮崎空港→桃園国際空港)
2	7/28(日)	台北・班別フィールドワーク、九份研修
3	7/29(月)	午前：公益財団法人日本台湾交流協会訪問 午後：トレードメディアジャパン訪問
4	7/30(火)	午前：長生製茶廠有限公司にて講話・実習 午後：移動日(台北→高雄)
5	7/31(水)	高雄高級中學訪問&ホームステイ① 午前：姉妹校・高雄高級中學との交流事業 午後：課題研究ディスカッション
6	8/1(木)	高雄高級中學訪問&ホームステイ② 終日：高雄高級中學生徒とフィールドワーク
7	8/2(金)	高雄高級中學訪問&ホームステイ③ 午前：プレゼンテーション準備 午後：課題研究コラボプレゼンテーション
8	8/3(土)	午前：移動(高雄→桃園) 午後：移動(桃園国際空港→宮崎空港)



本校との姉妹校締結に 尽力した河野昭氏

河野さんは台湾生まれ、台湾育ちの「河生」。旧制高雄中学在学中に終戦を迎え、本校を卒業した。自身が学んだ本校と高雄高級中学の姉妹校締結を実現させた。(写真は高雄市長より名誉市民の表彰を授与される河野昭氏)

参加者のコメント

台湾に行くのは、この研修で2回目だったのですが、この研修でしか体験出来ないとても貴重な経験や、かけがえない友達を持つことが出来ました。台北市での研修は、台湾を肌で感じ、文化や歴史について学びました。TMJでは、台湾の政治についても知ることが出来、台湾の若者が自分たちの問題としてとらえ、政治に関する関心が高いことを知り、私も自国の政治情勢について他人事だと思わずには、しっかりした意見を持てるようになりたいと思いました。台北ではグローバルに動く企業を訪れ、将来グローバルな会社で働いてみたいと思ったのとともに、将来の仕事の選択肢が広がったと感じました。高雄高級中学との交流が始まってからは、その英語力に圧倒され、もっと英語を頑張らなさいといけなさいと強く思いました。また、この三日間のオールイングリッシュ生活で、学んだ単語がたくさんあり、英単語帳を眺めるよりも実際に使う英語を学ぶことでより忘れにくいということがわかりました。

わたしが一番心に残っているのは何と言っても高雄高級中学の生徒との交流です。彼らは本当に親切で、とてもよい時間を過ごすことが出来ました。二日間でいろいろな各地を回りましたが、私にも分かるような英語で説明してくれたり、質問しても笑顔で答えてくれたことがすごく嬉しかったです。今回は私の英語力が無いために向こうの生徒にたくさん迷惑をかけ、分るまで何度も説明してくれたので、次会うときまでに英語力を向上させ、そのようなことがないように、そして宮崎の魅力をもっともっと知ってもらえるように、英語だけでなく、宮崎の文化や歴史について改めて勉強しないといけなさいと感じました。ここで出来た友達との交流を絶やさず、またみんなで台湾を訪ねたいと思います。

(2019年参加生徒のコメント)



ベトナム研修プログラムは、ハノイ国家教育大学附属グエン・タット・タイン中学高校との濃い交流プログラムが中心になります。学校生活や授業体験・特別プログラムが数多く企画されています。また、ホームステイも含めて、他のプログラムではなかなかできない、ディープなベトナムの文化・風土を知り、人々と深く関わる「没入(イマージョン)体験」が出来ます。

ベトナム
トップレベルの
姉妹校の生徒との
感動的な没入体験

ベトナム 研修



姉妹校
Nguyen Tat Thanh
Lower & Upper Secondary School
ハノイ国家教育大学附属
グエン・タット・タイン中学高校



2023年3月
姉妹校協定締結

■ 研修日程(2023年3月実施分)

1	3/4(土)	移動日 (宮崎空港→成田空港)
2	3/5(日)	移動日 (成田空港→ハノイ) 旧市街見学 (ナイトマーケット)
3	3/6(月)	日越大学訪問 (日本語授業参加) 旧市街見学 (文廟・ホーチミン廟等)
4	3/7(火)	Nguyễn Tất Thành中学高校訪問・ホームステイ ① ・歓迎セレモニー ・国立民俗学博物館 ・授業参加 (プレゼン発表) ・授業参加 (生物) ・文化交流 (ベトナムの歌の練習)
5	3/8(水)	Nguyễn Tất Thành中学高校訪問・ホームステイ ② ・バチャン陶芸村 ・授業参加 (プレゼン発表) ・授業参加 (日本文化紹介) ・バス観音試合
6	3/9(木)	Nguyễn Tất Thành中学高校訪問・ホームステイ ③ ・社会福祉施設訪問 ・ベトナム民族文化観光村見学
7	3/10(金)	Nguyễn Tất Thành中学高校訪問・ホームステイ ④ ・科学部の実験教室参加 ・姉妹校締結式 ・国立科学技術アカデミー見学 ・ファイナルプレゼンテーション ・お別れセレモニー
8	3/11(土)	・ホストファミリーと過ごす ・お別れ夕食会・機中泊
9	3/12(日)	移動日(ハノイ→成田空港→宮崎空港)

参加者のコメント

研修メンバーの中で一番、英語が聞き取れない、話せなかった私でしたが、どんな些細なことでメモ帳に書き留めたり、一度うまく伝わった表現や話のネタがあったら、自分で呆れるほど色々なところで繰り返し使ってみたりと、自分のやり方を貫いたこと、そして完璧でなくても、カタコトでも、言葉を発することをためらわなかったことが、私を大きく成長させてくれたと思っています。今では、些細なことでも気になることやわからないことがあればすぐに誰かに尋ねることができるようになりました。

現在の国家主席の家の外観を見て、ホーチミンの家を訪れて、一柱寺で拝んでホーチミン博物館に行った後は、ドンスアン市場で食事をし、午後は、ベトナムで有名な古民家カフェの屋上からホアンキエム湖周辺を一望しながら、ベトナム名物のエッグコーヒーとヒマワリの種をいただきました。あいにくの雨でしたが、まったりとしながら、ホストファミリーとたくさんお話ができました。(中略)ホストファミリーと過ごすときの時間はとても幸せでした。先生が何度もおっしゃっていた「研修を全力で頑張った、楽しんだ分だけ、別れるのが辛くて涙が止まらない」という言葉に強く頷きながら私も溢れる涙を大きなタオルで拭い、ベトナムに感謝と別れを告げました。

私はこの一週間で、自分を貫く力、間違いやできないこと、わからないことがある自分を自分がしっかりと認めてあげること、そしてそのわからないことはためらわず尋ねる力を伸ばせたと感じています。今回は、自分の“一度成功したことは何度も繰り返す”という性格が功を奏したと思います。また、“迷った時はまずやってみよう”という姿勢が自分の中では大きな成長に繋がったと感じています。

英語を実際に使ってきていないこと、海外に行ったことがないことなど、自分の“ない”部分を理由に海外研修に挑戦することをためらわなかった自分、本当にありがとう！もちろん、自分のポキャブラリーの少なさ、話す力、聞き取る力の低さを突きつけられました。それでも、突きつけられることを恐れるより、突きつけられた今の方が、私は自分の中に湧いている勉強や物事に対する熱量が比べものにならないほど大きいと実感しています。語量を増やして、ベトナムの友達に英語の実践に付き合ってもらいながら、これまで以上に根気強く頑張って、また、海外に挑戦します！



NUSの大学生と共に
探究テーマを通した
武者修行

シンガポール 研修

連携校
National University of Singapore
Math&Science High School
シンガポール国立大学
附属数理高校



シンガポール研修プログラムは、シンガポール国立大学の学生とフィールドワーク、ディスカッション、プレゼンテーションで協働します。探究テーマの切り口を通して、中華系・マレー系・インド系・アラブ系など多民族・多文化が共生し、東南アジアの経済の中心シンガポールに触れることになります。現地の大学生の協力を得ながら、探究テーマの調査を自ら企画し、実際にフィールドワークを行い、ファイナルプレゼンテーションまで行う「武者修行」が大きな特色です。

■ 研修日程(2023年3月実施分)

1	3/4(土)	午後, 移動 (宮崎空港-羽田空港)
2	3/5(日)	移動日 (羽田空港-チャンギ国際空港) 基本研修
3	3/6(月)	シンガポール訪問研修 -都市構造・他民族共生・政策を学ぶ- ・URAシティギャラリー ・ホーカー体験 ・クレアシンガポール事務所訪問 ・マリナー地区グループ研修
4	3/7(火)	シンガポール国立大学(NUS)学生との協働研修① -他民族・多文化共生と課題研究の調査の準備- ・NUSキャンパスツアー ・シティツアー(中華・マレー・インド文化について)
5	3/8(水)	シンガポール国立博物館グループ研修 シンガポール国立大学附属数理高校(NUSH)高校生との研修 ・開会行事 ・授業体験 ・課題研究プレゼンテーション及びディスカッション
6	3/9(木)	シンガポール国立大学(NUS)学生との協働研修② ・課題研究のフィールドワーク
7	3/10(金)	ファイナルプレゼンテーション
8	3/11(土)	自主研修 移動日 (深夜便 チャンギ国際空港-羽田空港)
9	3/12(日)	移動 (羽田空港-宮崎空港)

参加者のコメント

私はこのシンガポール研修でとてもたくさんのことを学びました。海外に行くのは今回が初めてで、最初は不安が大きかったです。シンガポールの方々はほとんどの方が英語で会話ができいていました。日本でも英語の教育は行なっていますが、実際に使いこなせる人が少ないのは英語を使う機会が少ないからかなと思いました。はじめは自分の英語に自信がなく、英語での会話に苦手意識がありましたが、聞き取れない言葉があれば簡単な単語に直して説明してくれるし、上手な英語でなくても言いたいことを汲み取って話してくれました。もちろんしっかりした英語で話せるのが一番いいことだと思いますが、まずは恐れずとりあえず話してみるということが大切だなと感じました。

ホーカーセンターでは日本では見られないさまざまな料理をみることができました。食べたことがないものばかりでどれもとても美味しかったです。また、席が空いていなくて何度か相席をしましたが、どの方も親切で、シンガポールのおすすめの食べ物や場所を教えてくださいました。フィールドワークでは私が調べていたフェアトレードの商品を置いているお店に行きました。主にインタビューをしたのですが、私が何度聞き返しても嫌な顔をせずに丁寧に答えてくださいました。フェアトレード商品の生産者や消費者のことを詳しく知ることができてとても勉強になりました。プレゼン発表は質問がうまく聞き取れなかったり聞き取れても答えられなかったり満足のものではなかったのですが、海外でプレゼンをしたことはこれから大きな自信につながると思います。

今回の研修で一番印象に残っているのは、NUSHの学生たちと交流したことです。彼らは第3言語まで習得していて、日本との学力の差を実感しました。私たちが発表したプレゼンに対し、褒めてくれたり、自分に意見を言ってくれたりしました。相手のことを認めつつ、きちんと自分の考えも主張しているのを目の当たりにし、個性が大切にされている環境というのはこういうことかと感じました。夕食と一緒に食べたみんなはとても話やすく、お互いの国や趣味についてたくさん話しました。

この研修を通して、よく聞く言葉ですが、本当に視野が広がりました。自分がこれまでいかに狭い視野で行動したり、物事を評価したりしていたかということを痛感しました。研修に行くことを応援してくれた両親や先生、協力してくださった現地の方々への感謝を忘れず、今回経験した、学んだことをこれからはしっかり生かしていきたいです。



世界の政治経済 学術の中心で、 世界トップの大学の 学生達と大志を抱く 米国研修

ニューヨーク・ボストン

協力

写真右より

WWLカリキュラムアドバイザー 根本敏志様

WWLカリキュラムアドバイザー 長倉若先生

(コロンビア大学ティーチャーズカレッジ上席研究員)



米国研修プログラムは、これまで文部科学省のSGH指定以来海外との協働プログラムをつくってきた経験の上にカリキュラム・アドバイザーのご協力で企画しています。

世界の政治・経済の中心ニューヨークでは、国際政治の中心である国際連合研修、コロンビア大学での研修、学術都市ボストンでは、ハーバード大学・マサチューセッツ工科大学を訪問し、自身の「進路探究テーマ」を軸に、自らアポイントをとり世界を牽引する研究者と対談します。この「武者修行」体験を通して、世界トップレベル大学院への進学を視野に志を高めます。

■研修日程(2023年2-3月実施分)

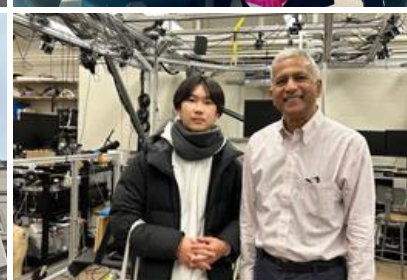
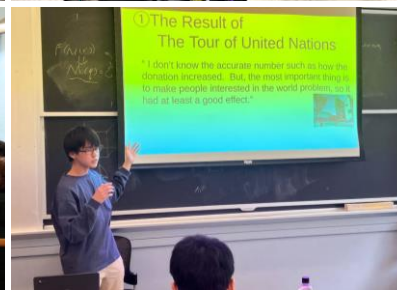
1	2/26(日)	国内移動日 終日、プレゼンテーション作成
2	2/27(月)	米国への移動日(成田→ニューヨークJFK空港) ニューヨーク・国際連合研修
3	2/28(火)	ニューヨーク共通研修 グラウンド・ゼロ、ウォール街 バッテリーパーク (自由の女神)エリス島を望む コロンビア大学・ニューヨーク市内自主研修 ・キャンパスツアー・ユニセフ ・コロンビア大学(Dr.Frits, Dr.Sunil Agrawal) ・コーネルテック・グーグル社
4	3/1(水)	米国内移動日(ニューヨーク→ボストン) ボストン市内自主研修
5	3/2(木)	ハーバード大学研修 ①全員でキャンパスツアー ②ハーバード大学&ボストン自主研修 ・スミソニアン天体物理観測所 ・ハーバード大学メディカルスクール ・Venture Café など
6	3/3(金)	マサチューセッツ工科大学研修 ①全員でキャンパスツアー(9:00~12:00) ②MIT&ボストン自主研修 (MIT生とともに)※昼食含む 自分自身のテーマに関連した先生、 企業・研究所、施設訪問(事前に計画と予約)
7	3/4(土)	最終プレゼンテーション@MIT
8	3/5(日)	移動日(ボストン→成田)
9	3/6(月)	移動日(成田→羽田)
10	3/7(火)	移動日(羽田→宮崎)

参加者のコメント

今回の研修は10日間の日程だったが、どの日も様々な出来事があり、あっという間に終わってしまったように感じる。様々なものに驚きを持って学ぶことができ、参加できてよかったと思っている。

そんな中で最も大きな学びになったのは、実際に教授や学生、企業の方などが働いたり研究したりしている場所、姿を見ることができたことだと思う。例えば、Googleのニューヨークのオフィスにはビリヤードやビデオゲーム、自由に取れるスナックやカフェだけでなく、マッサージをしてくれる場所などもあり、とても独創的な労働環境であることに驚くと同時に、日本のオフィスの様子だけが普通なのではないとしたことも大きかった。また、venture cafeを訪れた際にも、世界中のベンチャー企業や大学から人が集まって、各々の研究や事業について発表している場でお酒やポップコーンなどの食事が振る舞われ、そこらじゅうで自由に会話したりプレゼンをしたりしているという空間が非常に面白かった。さらに、venture cafeに加えて、長倉教授や嘉澤さん、楠本さんのお話では、それぞれが自分なりの理由のもと自分のテーマを研究し、同時に、一見関わらなさそうな分野同士が協力したりしているということも知ることによって、自分も将来このような場所で働きたいという具体的な目標が持てたことが非常によかったと思う。また、研修全体を通して日本との価値観の大きな違いに何度も触れ、視野を広げられたのと同時に、日本でもアメリカでも同じことも見つけることができ、今までの考え方を補強することにもつながったと思う。例えば、小さなことかもしれないが、ニューヨークではほとんどの人は歩行者信号なんて気にせず、車が来ているか来ていないかを基準にしていたり、マスクにしている人はほとんどいなかったりと、形式などを大事にする日本と違って実質をより大事にしているという違いを感じて考え方の違いを実際に目にしたのに対し、venture cafeのセッションでイノベーションの鍵だと言われていることは日本で普段言われていることとほとんど同じで驚きもした。また、公衆衛生などの面においては、日本がどれほど優れているのかなどを感じ、改めて自国の良さも感じた。

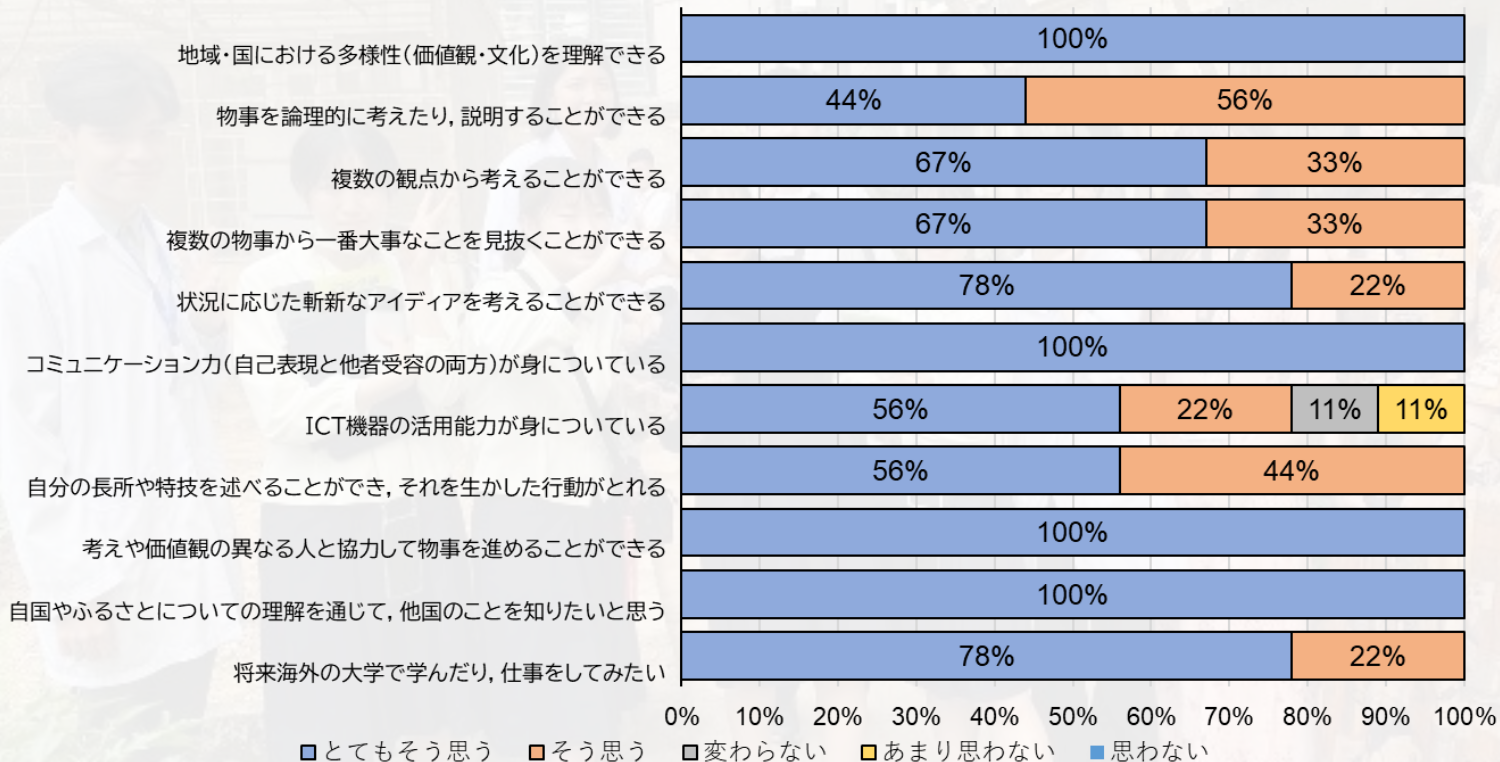
そしてさらに、今回の研修で私は少し自分に自信が持てたと思う。今までは失敗を恐れて行動しなかったことも多かったが、アメリカでの自主研修などでは、自分で行動しなければどうしようもないような場面にも何度も遭遇し、その度に失敗したりも成功したりもしていたが、どちらにせよ意外となんとかなるということをも身をもって感じられたことが大きく、自信に繋がったと思う。



生徒の変容① グローバル・イノベーティブ・リーダーの資質

「それぞれの資質等は研修前と比べて高まったと思うか？」

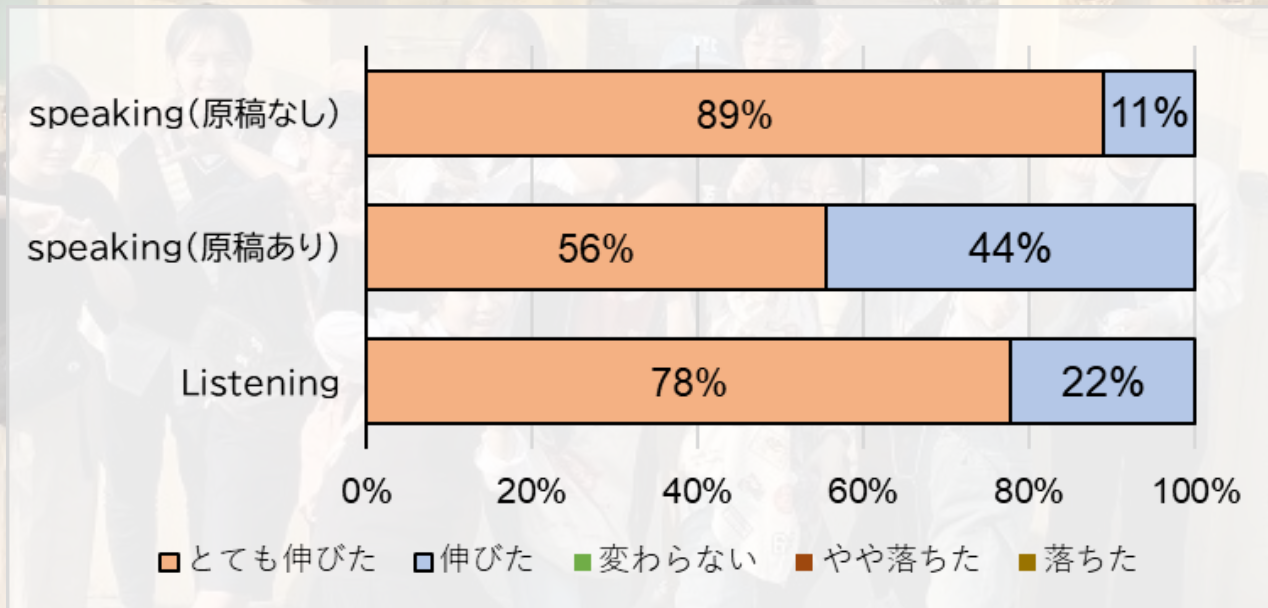
ーベトナム研修調査よりー



生徒の変容② 英語4技能

「それぞれの技能は研修前と比べてどうなったと思うか？」

ーベトナム研修調査よりー



生徒の変容③ GTECで見る英語4技能の変容

◆同程度のスコア域での海外研修経験者と非経験者のGTEC(英語4技能最大1280)のスコアの伸びの比較

学科	月	R	L	W	S	Total
経験者	2年 12月	271	266	269	278	1084
	3年 6月	278	289	261	285	1113
非経験者	2年 12月	270	268	260	273	1071
	3年 6月	273	286	255	273	1087

Red arrows and text indicating score changes: 29up (from 1084 to 1113) and 16up (from 1071 to 1087).

イノベーション プログラム①

交流パート & ホームステイ

姉妹校



Kaohsiung

Senior High School

高雄市立高雄高級中學(台湾)

姉妹校



Nguyen Tat Thanh

Lower & Upper Secondary School

ハノイ国家教育大学附属

グエン・タット・タイン

中学校

姉妹校の高雄高級中學(台湾)の生徒9名・先生1名とグエン・タット・タイン中学・高校の生徒17名・先生2名が本校に訪問しました。

◆交流パート

8/3の交流では、2年生の生徒を中心に、自分達で企画・運営を行いました。本校箏曲部の演奏に始まり、両校のスピーチ・プレゼンテーション・パフォーマンス、歓迎昼食会、生徒企画の縁日、ディスカッション、交流バスケットボールマッチが行われました。

8/10の交流では、海外生徒と本校生徒で宮崎市街地を舞台に班別研修を行い、宮崎最後の日の素晴らしい思い出を作ることができました。

◆ホームステイ

26名の生徒分の7泊のホームステイを受け入れた。体験談にもある通り、海外の生徒は各ご家庭で素晴らしい体験をし、忘れられない思い出に終わったようです。

1	8/2(水)	移動日(ハノイ・高雄→東京→宮崎)	
2	8/3(木)	交流パート① 歓迎行事, 交流ランチ, プレゼンテーション, 交流バスケットマッチ	
3	8/4(金)	イノベーションパート①(T I S P) チームビルディング, フィールドワーク	ホーム ステイ
4	8/5(土)	イノベーションパート②(T I S P) 未来シナリオ分析, フィールドワーク分析	
5	8/6(日)	ホストファミリーとの時間	
6	8/7(月)	イノベーションパート③(T I S P) アイデア発想, 精緻化	農業大 学校 宿泊
7	8/8(火)	イノベーションパート④(T I S P) アイデア評価, プロトタイプ, 準備	
8	8/9(水)	イノベーションパート⑤(T I S P) 発表会	ホーム ステイ
9	8/10(木)	交流パート② 班別自主研修(宮崎市街地を共にプランを立てて訪問)	
10	8/11(金)	移動日(宮崎→東京→ハノイ・高雄)	

ホームステイ体験談

◆海外留学生を受け入れて様々なことを学ぶことが出来ました。今回は留学生と私どもちども第一言語ではない英語を使って会話をしていたのでお互いの言いたいことを理解するのが難しかったりして大変でした。しかしお互いのことを分かり合えたりできた時はとても嬉しくとても楽しかったです。改めて英語を学ぶための目的を明らかにすることが出来ました。短い間だったけれど家族の一員として受け入れることができて良かったなと思いました。貴重な経験ができたのでまた来年もホームステイを受け入れたいです。(ホスト1年生生徒)

◆コロナ禍もあり海外の人々と長らく接する機会がなかったですがこのような貴重な機会をいただき大変感謝しております。実感したことは異文化、異言語圏の人々と接する時の私たちの英語力の未熟さです。しかし恐れているはコミュニケーションが成立しません。間違えだらけの英語文法やジェスチャー、表情、時には簡単なイラストなどを用いてコミュニケーションの本質を家族一同、学んだ次第であります。そしてこのような海外プログラムが一朝一夕で行われるはずがありません。国や学校などの選定、予算の問題そして受け入れる側の環境整備の問題などこの素晴らしいプログラムの裏にはこれまでの先生方の御尽力、御苦労あってこそと実感しております。この貴重な経験が子どもたちの視野を広げてくれるものと確信しております。本当にありがとうございました。(ホスト1年生保護者)

◆I felt warm as soon as I arrived the airport. They tried their best to chat with me. When I had some questions, they always answered me enthusiastically. They take care of all of my necessities of life. They brought me to school & picked up me every day. They washed clothes for me, making delicious meals every day. Sometimes they even brought me to expensive restaurants. They cared if I'm hungry. They cared if the temperature was too hot for me. They cared if I'm thirsty. They cared if I sleep well. They cared if I like the meals. They cared what I want to eat. They cared what I want to do. They cared where I want to go. They cared when I want to take a rest. They cared everything about me. I felt as if they are just my family. In the ten days program, sometimes I even thought that I want to stay there forever. I had a really unforgettable experience in the Homestay program. I would like to play Shogi & wii & switch with them again. Because of them, I like Japan much more than before. If they choose to go to Taiwan in the next year, I would also try my best to take care of them. I miss them so much... (高雄高級中學参加生徒)



イノベーション プログラム② イノベーション パート

連携

i.school  school
Japan Social Innovation Center
日本社会イノベーションセンター

姉妹校

Kaohsiung
Senior High School
高雄市立高雄高級中學(台湾)

Nguyen Tat Thanh
Lower & Upper Secondary School
ハノイ国家教育大学附属
グエン・タット・タイン
中学高校

本校は、2016年から東京大学名誉教授の堀井秀之先生が設立した東京大学発のイノベーションスクール*i.school*と連携してサマープログラムを実施してきました。2016年から19年は対面、2020年から22年はオンラインでの開催を続けてきました。

今年度は、新たに姉妹校の生徒・先生を加えての対面による英語でのサマープログラムとなりました。加藤えのき様、大山食品様、九州パンケーキ様にフィールドワークのご協力をいただき、企業の強みを分析しました。その一方で、未来シナリオにもとづいて未来ニーズを分析し、これらを組合せてアイデア発想を行いました。

初の試みでしたが、参加した生徒の皆さんにとっても刺激的な時間になったようです。

1	8/2(水)	移動日(ハノイ・高雄→東京→宮崎)	
2	8/3(木)	交流パート① 歓迎行事, 交流ランチ, プレゼンテーション, 交流バスケットマッチ	
3	8/4(金)	イノベーションパート①(T I S P) チームビルディング, フィールドワーク	ホーム ステイ
4	8/5(土)	イノベーションパート②(T I S P) 未来シナリオ分析, フィールドワーク分析	
5	8/6(日)	ホストファミリーとの時間	
6	8/7(月)	イノベーションパート③(T I S P) アイデア発想, 精緻化	農業大 学校宿
7	8/8(火)	イノベーションパート④(T I S P) アイデア評価, プロトタイプ, 準備	
8	8/9(水)	イノベーションパート⑤(T I S P) 発表会	ホーム ステイ
9	8/10(木)	交流パート② 班別自主研修(宮崎市街地を共にプランを立てて訪問)	
10	8/11(金)	移動日(宮崎→東京→ハノイ・高雄)	

参加者のコメント

海外の方々と一緒に活動をすることで、日本にいたら考え付かなかったようなアイデアや考え方に触れることができ、とても貴重な機会になりました。考え方の違いや英語力の差からコミュニケーションが円滑に進まないこともありましたが、それを乗り越えることで国を超えた絆が生まれたように感じます。ここまで人との出会いに感謝し、人との別れを惜しんだことはないと思うほどの最高の5日間でした。(本校参加生徒・2年生)

I learned how to cooperate as a team. Before I joined the program, I thought "cooperation" is finishing each other's parts peacefully. But during the program, I found that communication & listening are also important. In the beginning, I always only focus on my part, forgetting to pay attention to other members. A few moments later, I found that I should also help other people. In the process, surprisingly, I got a better understanding of every member, which gave me some accomplishment. Sometimes when I communicate or listen to members, some amazing ideas came to my mind. If I have the chance to join the program again, I would definitely attend in a more initiative way. Also, help each other more!

(高雄高級中學参加生徒)

The first thing that I have learnt through the innovation program is that I know the element to be a leader of a group or team. The second thing I have learnt is I know my hidden strength through teamwork, and I know I have room for improvement. About the experience, I had plenty of fun while doing the workshop. Although sometimes it was very stressful and tough, me and my team still get through and had a wonderful presentation together. The innovation program is a wonderful experience and I hope I will have another chance to do it in the future.

(グエン・タット・タイン中学高校参加生徒)





Miyazaki Omiya
Senior High School
since 1888



ご清聴ありがとうございました。